

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	骨関節系解剖生理学 I	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部1年	学期及び曜時限	前期	教室名	903教室
担 当 教 員	宇留島 嵩人				
実務経験と その関連資格	理学療法士として愛仁会高槻病院(急性期)で2年間勤務。その後尼崎だいもつ病院(回復期)で3年間勤務。運動器認定理学療法士取得済み。運動器疾患を100例以上担当。福祉住環境コーディネーター2級取得。心電図検定2級取得。本校にて国家試験対策講義を担当。				
《授業科目における学習内容》					
今回担当する解剖学は骨格、関節と靭帯、筋の大きく3つに分かれており、まずは運動器系を構成する骨格、関節靭帯、筋を関連付けて理解を深めていく。国家試験や臨床実習で特に大事なことを小テスト・モノグサアプリ等で確認していく。					
《成績評価の方法と基準》					
小テスト+口頭試問+モノグサアプリの記憶度で評価					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
からだが見える人体の構造と機能第1版:医療情報科学研究所 プロメテウス解剖学:坂井建雄 医学書類					
《授業外における学習方法》					
モノグサアプリでの問題実施 動画教材による予習・復習					
《履修に当たっての留意点》					
解剖学は覚える内容が多々あるため、授業だけでなくモノグサアプリでの記憶の定着や動画教材での予習復習を取り入れながら理解を深めていきます。特に重要なポイントを話していきます。覚えやすいように例に上げたり、語呂合わせ等も話していくので一緒に乗り越えていきましょう。					
授業の 方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	授業を 通じての 到達目標		上記教科書		
	各コマに おける 授業予定	オリエンテーション			
第 2 回	授業を 通じての 到達目標	骨の形態・種類を理解する	上記教科書	今回の予習	
	各コマに おける 授業予定	骨学総論①(骨の形態・構造・血管と神経・機能・発生)			
第 3 回	授業を 通じての 到達目標	肩甲骨、上腕骨の形態を理解する	上記教科書	前回の復習と今回の予習	
	各コマに おける 授業予定	骨学各論①上肢帯			
第 4 回	授業を 通じての 到達目標	前腕手指の形態を理解する	上記教科書	前回の復習と今回の予習	
	各コマに おける 授業予定	骨学各論②上肢帯			
第 5 回	授業を 通じての 到達目標	骨盤・股関節の形態を理解する	上記教科書	前回の復習と今回の予習	
	各コマに おける 授業予定	骨学各論③骨盤帯・下肢			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	下腿・足根骨の構造を理解する	上記教科書	前回の復習と今回の予習
	各コマにおける授業予定	骨学各論④下腿、足部		
第7回	授業を通じての到達目標	胸骨、肋骨、脊柱を理解する	上記教科書	前回の復習と今回の予習
	各コマにおける授業予定	骨学各論⑤体幹編		
第8回	授業を通じての到達目標	関節の種類や構造を理解する	上記教科書	前回の復習と今回の予習
	各コマにおける授業予定	関節と靭帯総論①骨の連結や一般構造)		
第9回	授業を通じての到達目標	胸鎖関節、肩鎖関節、肩甲骨の動き、肩関節の動き	上記教科書	前回の復習と今回の予習
	各コマにおける授業予定	関節と靭帯各論①上肢帯の連結		
第10回	授業を通じての到達目標	肘関節、手関節	上記教科書	前回の復習と今回の予習
	各コマにおける授業予定	関節と靭帯の各論②上肢帯の連結		
第11回	授業を通じての到達目標	骨盤・股関節の連結を理解	上記教科書	前回の復習と今回の予習
	各コマにおける授業予定	関節と靭帯の各論③下肢帯の連結		
第12回	授業を通じての到達目標	膝関節、足関節の連結を理解	上記教科書	前回の復習と今回の予習
	各コマにおける授業予定	関節と靭帯の各論④下肢帯の連結		
第13回	授業を通じての到達目標	頭蓋骨の構成を理解する	上記教科書	前回の復習と今回の予習
	各コマにおける授業予定	関節と靭帯の各論⑤頭蓋骨		
第14回	授業を通じての到達目標	頭部、頸部、体幹の連結を理解する	上記教科書	前回の復習と今回の予習
	各コマにおける授業予定	関節と靭帯の各論⑥頭部・頸部・体幹		
第15回	授業を通じての到達目標	脊柱の連結を理解する	上記教科書	前回の復習と今回の予習
	各コマにおける授業予定	関節と靭帯の各論⑥脊柱と胸郭の特徴		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習	
科 目 名	骨関節系解剖生理学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60	(3) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部1年		学期及び曜時限	前期	教室名	903	
担 当 教 員	宇留島 高人	実務経験と その関連資格					
《授業科目における学習内容》							
今回担当する解剖学は骨格、関節と靭帯、筋の大きく3つに分かれており、まずは運動器系を構成する骨格、関節靭帯、筋を関連付けて理解を深めていく。国家試験や臨床実習で特に大事なことを小テスト・モノグサアプリ等で確認していく。							
《成績評価の方法と基準》							
小テスト+口頭試問+モノグサアプリの記憶度で評価							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
からだが見える人体の構造と機能第1版:医療情報科学研究所 プロメテウス解剖学:坂井建雄 医学書類							
《授業外における学習方法》							
モノグサアプリでの問題実施 動画教材による予習・復習							
《履修に当たっての留意点》							
解剖学は覚える内容が多々あるため、授業だけでなくモノグサアプリでの記憶の定着や動画教材での予習復習を取り入れながら理解を深めていきます。特に重要なポイントを話していきます。覚えやすいように例に上げたり、語呂合わせ等も話していくので一緒に乗り越えていきましょう。							
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容		
第 16 回	授業を 通じての 到達目標	脊柱全体の連結を理解する		上記教科書	前回の復習と今回の予習		
	各コマに おける 授業予定	関節と靭帯の各論⑦脊柱の連結の特徴					
第 17 回	授業を 通じての 到達目標	胸郭の連結を理解する		上記教科書	前回の復習と今回の予習		
	各コマに おける 授業予定	関節と靭帯の各論⑧胸郭の連結の特徴					
第 18 回	授業を 通じての 到達目標	筋の種類や構造を理解する		上記教科書	前回の復習と今回の予習		
	各コマに おける 授業予定	筋系総論①種類と構造					
第 19 回	授業を 通じての 到達目標	骨格筋の種類や構造を理解する		上記教科書	前回の復習と今回の予習		
	各コマに おける 授業予定	筋系総論②骨格筋の種類と構造					
第 20 回	授業を 通じての 到達目標	肩甲帯の筋肉を理解する		上記教科書	前回の復習と今回の予習		
	各コマに おける 授業予定	筋系各論①上肢帯の筋肉					

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	授業を通じての到達目標	上腕の筋肉を理解する	上記教科書	前回の復習と今回の予習
	各コマにおける授業予定	筋系各論②上肢帯の筋肉		
第22回	授業を通じての到達目標	前腕、手の筋肉を理解する	上記教科書	前回の復習と今回の予習
	各コマにおける授業予定	筋系各論③上肢帯の筋肉		
第23回	授業を通じての到達目標	骨盤帯の筋肉を理解する	上記教科書	前回の復習と今回の予習
	各コマにおける授業予定	筋系各論④下肢帯の筋肉		
第24回	授業を通じての到達目標	大腿の筋肉を理解する	上記教科書	前回の復習と今回の予習
	各コマにおける授業予定	筋系各論⑤下肢帯の筋肉		
第25回	授業を通じての到達目標	下腿、足の筋肉を理解する	上記教科書	前回の復習と今回の予習
	各コマにおける授業予定	筋系各論⑥下肢帯の筋肉		
第26回	授業を通じての到達目標	下肢筋を実技で確認する	上記教科書	前回の復習と今回の予習
	各コマにおける授業予定	筋系各論⑦下肢帯の筋肉を実技で確認		
第27回	授業を通じての到達目標	頭部、頸部の筋肉を理解する	上記教科書	前回の復習と今回の予習
	各コマにおける授業予定	筋系各論⑧体幹の筋肉		
第28回	授業を通じての到達目標	胸郭の筋肉を理解する	上記教科書	前回の復習と今回の予習
	各コマにおける授業予定	筋系各論⑨体幹の筋肉		
第29回	授業を通じての到達目標	腰椎の筋肉を理解する	上記教科書	前回の復習と今回の予習
	各コマにおける授業予定	筋系各論⑩体幹の筋肉		
第30回	授業を通じての到達目標	小テストも踏まえ復習	上記教科書	前回の復習と今回の予習
	各コマにおける授業予定	前期のまとめ		